

# 令和6年度 田尻さくら高等学校 学校評価 補足資料

## 学校評価の意義

(高等学校に準用)

小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。

[学校教育法第42条]

## 回収率

生徒：(R2)79%→(R3)71%→(R4)75%→(R5)57%→(R6)58% (WEB回答92%/紙回答8%)

令和3年度から引き続きQRコードを読み取ってスマホからも提出できるようにした。また、紙の用紙には漢字にすべてふりがなを付けた。

保護者：(H30)64%→(R1)51%→(R2)63%→(R3)52%→(R4)49%→(R5)42%→(R6)40%

例年通り第2回考査の通知表と一緒にアンケート用紙を郵送、紙で提出していただいた。回収率が年々低下している。

肯定的評価(%)：「1よく当てはまる」+「2だいたい当てはまる」

(%)

校訓・教育目標・スクールポリシー		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -down
生3	校訓を知っている。[本校の校訓 (1) 自律 (2) 進取 (3) 誠実]	79	78	1
保1	「教育目標」を理解している。	89	94	-5
生4	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	89	86	3
保2	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	96	97	-1
生徒・保護者の多くがスクールポリシーに基づいた教育課程の編成および実施がされていると認識していることが分かる。 今後も学校の方針を伝える機会を積極的に設けていきたい。				

学習指導		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -down
生6	田尻さくら高校の特色である少人数授業は、授業内容を理解するのに役立っている。	93	97	-4
生13	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	90	88	2
保3	田尻さくら高校は子どもの教育に熱心に取り組んでいる。	94	91	3
保6	お子様は、学習の仕方や内容を身につけている。	80	82	-2
保7	田尻さくら高校の特色である少人数授業は、授業内容を理解するのに役立つ。	97	100	-3
保13	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	92	93	-1
生徒・保護者とも学習指導に対して高評価を維持している。しかしいってあげれば、保護者は生徒になかなか学力が身につけていないと感じている。 各教科で生徒の学力が身につくような指導を工夫しているところであるが、今以上にそれが実感できるよう努めていきたい。				

図書館の利用		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生7	図書館は利用しやすい雰囲気である。	88	85	3
保8	お子様たちの学習や読書活動に図書館が役立っている。	73	68	5
<p>図書館については、生徒の肯定的評価が毎年8割を超えており、今年度は聴講生の利用もあることから、本校では異世代交流の場ともなっている。今年度の4月から11月の図書貸し出し数は、738冊（生徒：246冊、教職員：260冊、聴講生:232冊）である。昨年度は、同時期に627冊であり、今年の貸し出し数は上がっている。生徒たちは図書館を授業や休憩等でも利用しており、生徒の居場所の一つとなっている。</p>				

生活指導		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生8	生徒指導は、社会常識を踏まえており、適切である。	88	89	-1
保9	生徒指導は、社会常識を踏まえており、適切である。	91	88	3
生14	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	90	90	0
保14	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	84	89	-5
<p>生活指導全般については、保護者は昨年度比で肯定的評価が上回った。しかし、反対に挨拶・マナーに関しては保護者の肯定的評価の割合が下がっている。普段の生活の様々な場面を通して、誰もが気持ちよく過ごせるような立ち振る舞いを意識させていきたい。</p>				

愛好会活動		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生17	愛好会活動は活発に行われている。	84	76	8
保17	愛好会活動は活発に行われている。	84	81	3
<p>生徒・保護者とも肯定的評価が増えている。楽しく活動できていることがうかがえる。集団行動を学ぶ場として有意義なので、しっかりと活動を応援していきたい。</p>				

自治会活動		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生18	自治会活動は活発に行われている。	80	80	0
保18	自治会活動は活発に行われている。	92	91	1
<p>特に保護者から肯定的に評価されている。積極的に活動している生徒の自己肯定感を高める場として、今後も自治会の活動を支援していきたい。</p>				

学校行事		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生19	スポーツ祭や高校祭、講演会など、有意義な学校行事がある。	91	93	-2
保19	スポーツ祭や高校祭、講演会など、お子さんにとって有意義な学校行事がある。	90	90	0
<p>学校行事や講演会は、高い評価を得ている。学校行事の内容・時期などは、より良いものを求めて今後も改善を図りたい。</p>				

進路指導		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生9	進路に関する資料はわかりやすい。	92	89	3
生15	進路志望別見学会や進路講話など、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	94	94	0
保10	進路に関する各種情報が適切に提供されている。	82	93	-11
保15	進路志望別見学会や進路講話など、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	94	93	1

全般的に高い評価を得ているが、保護者からは「進路に関する各種情報が適切に提供されている」の項目だけが11ポイント下がった。メールやHPなどの活用も検討していきたい。

生徒の健康管理		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生10	保健室は利用しやすく、自分の心身の健康管理に役立っている。	91	85	6
保11	学校としてお子様の心身の健康管理に努めている。	92	96	-4
生11	日常の清掃活動にまじめに取り組んでいる。	87	85	2
保12	学校として日常の清掃活動がなされており、衛生的である。	99	96	3

生徒の保健室の利用について、今年度は4月から11月までで利用数は2412人、昨年度1年間の利用数は、2133人と利用度が高い。一日平均で、17.1人が保健室を利用しており、生徒の学校生活を支えるための大きな役割を担っているといえる。

災害時の避難・連絡		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生12	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	90	89	1
保21	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	92	97	-5

毎年、年度初めにさくらメール登録を行い、災害・非常時に備えている。停電想定をして暗いII部帯に実施する避難訓練や、すまいる園との合同避難訓練を行い、防災ボランティアをはじめとして、生徒の防災意識を高めた。

特色ある学校づくり		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生20	田尻さくら高校は、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	83	87	-4
保20	田尻さくら高校は、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	95	92	3

さくらギャラリーで夏はボランティア生徒が作った七夕飾りのもと書道展を実施し、初春には書初め展を行っている。今年度はオープンキャンパスで茶道の生徒たちがお点前を披露して中学生にお茶をふるまっている。また、去年に続きすめめ天旗づくりを沼部小学校の児童と行うなど、伝統文化に根ざした学校づくりに取り組んでいる。

学校の情報		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生21	保護者に対して、田尻さくら通信やさくらメールなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	88	92	-4
保22	保護者に対して、田尻さくら通信やさくらメールなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	97	98	-1

メール配信、さくら通信等を通して、保護者や生徒に学校の情報が適切に伝わっている結果が反映されている。タイムリーな情報発信に努めていきたい。

校舎等の施設設備		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -dwon
生22	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整っている。	86	90	-4
保23	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	94	98	-4

生徒保護者両者から肯定的評価が下がっている。授業を実施している特別教室にエアコンが無く、夏場に行う授業の環境が悪いことが大きく影響している様子である。

教育相談		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比差 +UP -DOWN
生16	教員やカウンセラー、ソーシャルワーカー、学校生活適応支援員が必要なときに相談に応じてくれる体制ができています。	92	88	4
保16	教員やカウンセラー、ソーシャルワーカー、学校生活適応支援員が必要なときに相談に応じてくれる体制ができています。	88	87	1
<p>昨年度と比べ、生徒保護者から肯定的評価が増えており、特に生徒は保健室利用と合わせて本校の教育相談体制に満足している。</p>				

いじめの早期発見・共有		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生23	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	81	82	-1
保24	学校と保護者が、いじめ問題に対する取組方針を共有している。	78	78	0
<p>いじめに関する指導については、毎月アンケートを行うなど早期発見に取り組んでいる。いじめに関する指導の共有については、保護者も取組方針の共有が不十分だと感じる割合が2割弱あり、教職員と家庭との連携が求められている。また本校では全体指導の中でいじめに関わる問題を取り上げる場数が少なく（本校特有の個別対応が多い）個々に応じて他の項目よりもいじめ問題に取り組んでいることを生徒や保護者に共有されていないことが考えられる。</p>				

PTA活動		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
保5	PTA活動は活発であり、その取り組みは活発である。	94	89	5
<p>PTA活動については、役員保護者、さくら高祭サポーターの方を中心に活動を進めている。PTA役員会では保護者の方々が無理なく参加していただいで楽しみながらPTA活動を行うようにしている。さくら高祭では、多数の保護者・教職員のご協力のもと、飲食の模擬店も昨年度から復活し、バザーも好評であった。PTA通信や「あさかぜ」でもPTA活動の様子を適宜伝えている。</p>				

学校生活の充実度		R6 肯定的評価	R5 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生5	田尻さくら高校に入学して良かった。	88	85	3
生24	学校生活はとても充実している。	82	84	-2
保4	お子様を田尻さくら高校に入れてよかった。	90	97	-7
保25	お子様の学校生活は充実している。	82	81	1
<p>保護者の9割以上が「田尻さくら高校に子どもが入学してよかった」との回答しているが、昨年に比べると7ポイント下がっている。例年高水準の肯定的評価をもらっているため、今後も生徒の学校生活をしっかり支えていきたい。</p>				